

様式第十八の四（第11条の3第3項関係）

認定事業適応計画の概要の公表

1. 認定の日付

2023年11月24日

2. 認定事業適応事業者の名称

株式会社ダイナックス

3. 認定事業適応計画の内容

（1）事業適応に係る事業の目標

当社は、『未来を今に』という企業スピリットをベースにチャレンジ精神を発揮して、お客様に満足して頂ける商品を開発し、生産し、販売し、『オンリーワン』の価値を創造して、皆様に感動して頂ける事を喜びとする、自動車・建機・農機等の駆動系専門メーカーです。

脱炭素社会実現への貢献に向け、自社だけでなくサプライチェーン全体を通じた温室効果ガス排出量の削減に取り組み、カーボンニュートラル達成を目指すとともに、設備投資による高付加価値の製品加工を通じて、新たな付加価値の創出と環境への負荷低減を両立させていきます。

（2）その事業の生産性を相当程度向上させることまたはその生産し、もしくは販売する商品もしくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

2023年度より事業適応を開始し、2024年度（目標年度）までに、事業者全体の炭素生産性を11.1%向上させることを目標とする。

（3）財務内容の健全性の向上を示す目標

2024年度（計画終了年度）に、経常利益を計上することを目標とする。

（4）事業適応の類型

エネルギー利用環境負荷低減事業適応

（5）計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称およびその分類コード）

苫小牧工場：輸送用機械器具製造業（中分類 31）

計画の対象となる事業所は、主に自動車・同付属品を製造するものであるため。

千歳工場：輸送用機械器具製造業（中分類 31）

計画の対象となる事業所は、主に自動車・同付属品を製造するものであるため。

(6) 事業適応の具体的内容

計画初年度は、苫小牧工場において、2023年11月に、既存の都市ガスボイラ・重油ボイラを廃棄し、木質バイオマスボイラへ更新することで、非化石燃料である木質バイオマスチップへの燃料転換となり、化石燃料である都市ガス及び重油の使用量が減少し、CO2排出量の削減が図れる。

また、苫小牧工場及び千歳工場において、2024年1月に、駐車場にソーラーカーポート（一体型）を設置し、発電した電気を自家消費することで、CO2排出量の削減を図る。

計画2年度（目標年度）は、上記取組を通期で継続することにより、会社全体の炭素生産性を11.1%向上させる。

(7) 事業適応の開始時期および終了時期

開始時期：2023年11月

終了時期：2025年3月